

## <水球陣>七帝戦第2日目 準決勝

H25. 8. 25 対大阪大 @京大プール

東大 1 4 2 2 計9

阪大 4 2 1 1 計8

得点者：大脇(2)、浪間(3)、梶原(2)、池亀(1)、藤目(1)

遂に訪れた七帝戦二日目。一日目の予選リーグを惜しくも2位で通過した東大は、午前に関大、午後に京大と当たることとなった。京大との試合のためにも大阪大学に勝ち、勢いをつけたいところだ。これまでの練習の成果が今試される。

### 第一ピリオド

暗雲が立ち込める中、試合開始の笛が鳴る。東大は先制点を許してしまい、さらに追加点を許す。ここで一度タイムアウトを取り、流れを変えようとするも点を決めきれない…。嫌なムードが流れる中、阪大にさらに二点を取られてしまう。しかし、ここで浪間が二人を相手に踏ん張り、敵の退水を誘発し、敵の判断ミスからペナルティスローを得る。これを浪間が決め、1対4で第一ピリオド終了。まさかのリードを許すが、勝負はここからだ。

### 第二ピリオド

巻き返しを図りたい東大。守りでは好カットを連発し、攻めも上手く機能し二点を返す。その後一進一退の攻防を続け、結局6対5で試合を折り返す。このまま追い上げて逆転したい。

### 第三ピリオド

序盤から好キープを魅せる疋田。それに応えるかのように浪間、梶原が点を決め、逆転に成功する。しかし、大脇の退水直後のタイムアウトあけに敵にループシュートを決められ再び試合は振り出しに。結局7対7でこのピリオドは終わり、試合の行方は第三ピリオドに。

### 第四ピリオド

ここまで来たら全力を尽くして勝ちに行くのみ。大脇が逆転のシュートを放つも、すぐに敵に返され再び同点。激しい攻防が続く中、両者ともなかなか得点を上げられない。この均衡を崩したのが梶原のカットだった。自陣2mでのカット後に全力ダッシュをし、大脇からのパスを敵陣2mで受け、それを再び大脇に戻し大脇の華麗なハンツー！結局これ

が決勝点となり、試合は9対8で幕を閉じ、無事東大は決勝へコマを進めた。

第一ピリオドで大幅なリードを許すも、何とかして勝利をもぎ取った東大。この勝利によって決勝進出が決まり、次はいよいよ因縁の相手である京大だ。気を引き締めて行こう。最後になりましたが、監督をなさってくださった堀江さん、応援にいらっしやってくださった阿内さん、横山さん本当にありがとうございました。

(文責 白石剛大)